



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月8日

上場会社名 **ダイダン株式会社** 上場取引所 **東**
 コード番号 **1980** URL <http://www.daidan.co.jp/>
 代表者 (役職名) **代表取締役社長執行役員** (氏名) **北野 晶平**
 問合せ先責任者 (役職名) **取締役常務執行役員業務本部長** (氏名) **池田 隆之** TEL **06-6447-8003**
 四半期報告書提出予定日 **平成29年2月9日** 配当支払開始予定日 **—**
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : **無**
 四半期決算説明会開催の有無 : **無**

(百万円未満切り捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	87,058	△9.8	4,651	5.6	4,856	4.8	3,144	7.5
28年3月期第3四半期	96,561	13.3	4,404	47.7	4,631	42.5	2,925	59.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,408百万円 (6.7%) 28年3月期第3四半期 3,195百万円 (2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	70.51	—
28年3月期第3四半期	65.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	109,781	57,052	51.8	1,275.65
28年3月期	122,312	54,583	44.5	1,219.41

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 56,883百万円 28年3月期 54,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	△0.3	6,500	△0.6	6,500	△4.0	4,000	△5.9	89.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 予想受注工事高「通期」143,000百万円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3の「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	45,963,803株	28年3月期	45,963,803株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,371,741株	28年3月期	1,368,636株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	44,594,019株	28年3月期3Q	44,598,938株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成29年3月期の個別業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,000	△0.1	6,500	0.2	6,500	△3.3	4,000	△5.1	89.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考)予想受注工事高「通期」142,000百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8
部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国の利上げに対する慎重姿勢の高まり、日銀の金融政策決定後の混乱もあり、為替市場では円高、株式市場では株安が定着し、その影響から企業収益に足踏みが見られたものの、11月に行われた米国大統領選挙後には一転、円安、株高となる等、想定外の事象も生じ、先行き不透明な状況が続きました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間設備投資も、企業収益の見通しに足踏みは見られるものの、大幅に減少することはなく堅調な投資意欲が見られました。

このような状況のもと、中期経営計画「お客様に必要な環境を創造し提供するダイダグン ～Always With You.～」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高は、前年同四半期連結累計期間比5,976百万円増の113,423百万円となりました。

完成工事高は、前年同四半期連結累計期間比9,503百万円減の87,058百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事総利益率の改善により、前年同四半期連結累計期間比980百万円増の12,634百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比247百万円増の4,651百万円となりました。

経常利益は、為替差損が前年同四半期連結累計期間比47百万円増の56百万円となりましたが、営業利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比224百万円増の4,856百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として固定資産売却益49百万円、特別損失として災害による損失76百万円（熊本地震関連の損失）を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する四半期純損失を控除した結果、前年同四半期連結累計期間比218百万円増の3,144百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は78,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,682百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の減少（15,565百万円）等が、現金及び預金の増加（2,142百万円）等を上回ったことによるものです。固定資産は31,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,150百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の増加（527百万円）及び退職給付に係る資産の増加（439百万円）等によるものです。

この結果、総資産は109,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,531百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は45,866百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,567百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形・工事未払金の減少（27,383百万円）及び未払法人税等の減少（1,618百万円）等によるものです。固定負債は6,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ566百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金の増加（453百万円）等によるものです。

この結果、負債合計は52,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,001百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は57,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,469百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加（2,207百万円）等によるものです。

この結果、自己資本比率は51.8%（前連結会計年度末は44.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,563	25,706
受取手形・完成工事未収入金	56,157	40,591
電子記録債権	8,095	7,695
未成工事支出金	385	1,460
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,392	709
その他	2,117	1,864
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	91,704	78,022
固定資産		
有形固定資産	4,178	4,706
無形固定資産	594	694
投資その他の資産		
投資有価証券	16,543	16,636
繰延税金資産	1	1
退職給付に係る資産	7,866	8,306
その他	1,612	1,603
貸倒引当金	△188	△189
投資その他の資産合計	25,836	26,358
固定資産合計	30,608	31,758
資産合計	122,312	109,781

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	42,067	14,683
電子記録債務	—	15,040
短期借入金	4,519	3,788
未払法人税等	1,622	4
未成工事受入金	2,794	4,477
賞与引当金	—	1,234
役員賞与引当金	—	9
完成工事補償引当金	81	88
工事損失引当金	628	246
環境対策引当金	2	—
その他	9,717	6,291
流動負債合計	61,434	45,866
固定負債		
長期借入金	1,401	1,854
繰延税金負債	3,208	3,349
退職給付に係る負債	1,376	1,353
海外投資損失引当金	5	5
長期未払金	303	298
その他	0	0
固定負債合計	6,295	6,861
負債合計	67,729	52,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	39,588	41,796
自己株式	△674	△677
株主資本合計	48,203	50,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,326	6,388
為替換算調整勘定	20	△5
退職給付に係る調整累計額	△169	91
その他の包括利益累計額合計	6,176	6,475
非支配株主持分	203	169
純資産合計	54,583	57,052
負債純資産合計	122,312	109,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
完成工事高	96,561	87,058
完成工事原価	84,907	74,423
完成工事総利益	11,653	12,634
販売費及び一般管理費	7,249	7,983
営業利益	4,404	4,651
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	215	244
受取保険料	106	109
その他	30	29
営業外収益合計	361	389
営業外費用		
支払利息	108	101
支払保証料	8	4
為替差損	8	56
その他	8	22
営業外費用合計	133	184
経常利益	4,631	4,856
特別利益		
固定資産売却益	2	49
独占禁止法関連損失引当金戻入益	47	—
特別利益合計	49	49
特別損失		
固定資産除却損	1	4
投資有価証券評価損	17	—
ゴルフ会員権評価損	2	—
災害による損失	—	76
特別損失合計	20	80
税金等調整前四半期純利益	4,660	4,825
法人税、住民税及び事業税	991	1,009
法人税等調整額	737	680
法人税等合計	1,729	1,689
四半期純利益	2,931	3,135
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,925	3,144

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	2,931	3,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	403	61
為替換算調整勘定	△47	△50
退職給付に係る調整額	△91	261
その他の包括利益合計	264	272
四半期包括利益	3,195	3,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,213	3,443
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	△34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高 (連結)

(単位:百万円)

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		前連結会計年度	
		(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	
		金額	構成比%	金額	構成比%	金額	構成比%
受注 工事 高	電気工事	22,108	20.6	17,758	15.7	27,700	19.3
	空調工事	63,498	59.1	71,011	62.6	83,880	58.5
	水道衛生工事	21,840	20.3	24,653	21.7	31,922	22.2
	合計	107,447	100.0	113,423	100.0	143,503	100.0
	(リニューアル工事)	58,055	54.0	57,743	50.9	75,814	52.8
	(海外工事)	3,615	3.4	3,599	3.2	4,260	3.0
完成 工事 高	電気工事	21,545	22.3	18,832	21.6	30,805	22.3
	空調工事	53,041	54.9	49,098	56.4	77,298	55.9
	水道衛生工事	21,974	22.8	19,127	22.0	30,242	21.8
	合計	96,561	100.0	87,058	100.0	138,346	100.0
	(リニューアル工事)	51,498	53.3	48,870	56.1	77,421	56.0
	(海外工事)	7,564	7.8	3,539	4.1	9,381	6.8
繰越 工事 高	電気工事	18,092	17.5	13,352	10.8	14,425	14.8
	空調工事	63,255	61.2	81,292	65.5	59,379	60.8
	水道衛生工事	22,107	21.3	29,447	23.7	23,921	24.4
	合計	103,455	100.0	124,092	100.0	97,727	100.0
	(リニューアル工事)	33,825	32.7	34,534	27.8	25,661	26.3
	(海外工事)	4,114	4.0	3,001	2.4	2,942	3.0